

レジメン番号	0558	レジメン名	DVMP1 コース目
登録診療科	血液内科	使用薬剤	ダラザレックス、ベルケイド、アルケラン デキサート/プレドニゾロン
がん腫	多発性骨髄腫	インターバル日数	42 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 (/)	Day2 (/)	Day3 (/)	Day4 (/)	Day8 (/)	Day11 (/)	Day15 (/)	Day22 (/)	Day25 (/)	Day29 (/)	Day32 (/)	Day36 (/)	…Day42
ダラザレックス 16mg/kg	点滴	mg	↓				↓		↓	↓		↓		↓	6 週間を 1 コース
ベルケイド 1.3mg/m ²	皮下注	mg	↓			↓	↓	↓		↓	↓	↓	↓		
デキサート 16.5mg/body	点滴	mg	↓				↓		↓	↓		↓		↓	
プレドニゾロン 60mg/m ²	経口	mg		↓	↓	↓									
アルケラン 9mg/m ²	経口	mg	↓	↓	↓	↓									

(支持療法)

※1 Day1,8,15,22,29,36 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
① ダラザレックス	100mg	生食	※2 下記参照/輸注ポンプ
	400mg	初回：1000mL、2 回目以降：500mL	
② ベルケイド	3mg	生食 1.2mL	皮下注
③ デキサート	3.3mg	生食 100ml	15 分/点滴
④ 生食	500mL		(メインポート/持続)

(Day1,8,22,29)

投与間隔≫ (メインポート/持続) (側管 15 分) (皮下注) (側管※2)

投与順番≫ ④ → ③ → ② → ① → 終了

③は①投与 1～3 時間前までに投与終了

(Day15,36)

投与間隔≫ (メインポート/持続) (側管 15 分) (側管※2)

投与順番≫ ④ → ③ → ① → 終了

③は①投与 1～3 時間前までに投与終了

(Day4,11,25,32)

投与間隔≫ (皮下注)

投与順番≫ ① → 終了

【備考】

※1 ダラザレックス投与 1～3 時間前に、解熱鎮痛剤 (アセアミノフェン 1000mg) 及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 ダラザレックス投与速度

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (ml/h)			
		0～1 時間	1～2 時間	2～3 時間	3 時間以降
初回投与	1000ml	50	100	150	200
2 回目投与	500ml ^{注1}				
3 回目投与以降	500ml	100 ^{注2}	150	200	

注1：初回投与開始時から 3 時間以内に infusion reaction が認められなかった場合、500mL とすることができる。

注2：初回及び 2 回目投与時に最終速度が 100mL/h 以上で infusion reaction が認められなかった場合、100mL/h から開始することができる。